

# アワビとナマコの取扱いに ご注意ください!

## ～水産流通適正化制度について～



**アワビ、ナマコ**※(国内において違法かつ過剰な採捕が行われるおそれ大きい魚種(特定第一種水産動植物))について、

採捕事業者や加工・流通事業者等の取扱事業者は

- ① 行政機関への届出
- ② 漁獲番号その他伝達事項の伝達
- ③ 取引記録の作成・保存(3年間)
- ④ 輸出時に国が発行する適法漁獲等証明書の添付が義務づけられます。

(※: 令和7年からシラスウナギにも適用)

お問合せ先 水産庁加工流通課 ☎03-3502-8111 (内線6683)

### ▲水産流通適正化制度の概要

皆さんは、アワビ・ナマコは好きでしょうか。アワビ・ナマコは沿岸域に生息し、容易に採捕できることから密漁も各地で多発しています。これに伴い漁獲量が減少し、資源の持続的利用に悪影響を及ぼし、適正な漁業者等の経営が圧迫されるなど、問題となっています。

このような背景があり、違法に漁獲されたアワビ・ナマコを排除する制度として、「特定水産動植物等の国内流通の適正化等に関する法律」が令和4年12月1日に施行されました。

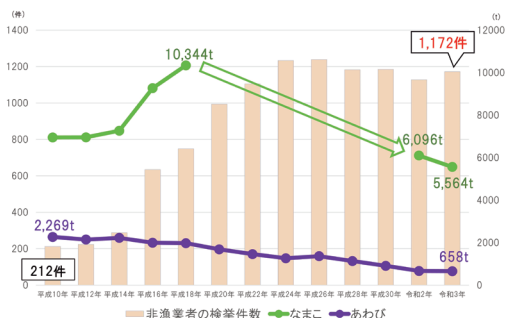
この法律により、対象水産物であるアワビ・ナマコを採捕する事業者や加工・流通等を行う事業者は届出が必要となったほか、採捕事業者から流通業者、販売者へと流通する各過程で16桁の漁獲番号を伝達することが必要となり、漁獲番号が付されていないアワビ・ナマコは流通できないようになり

- 近年、複数人による潜水器を用いた夜間操業や探照灯の照射など、違法漁獲が悪質・巧妙化。
- 非漁業者の検挙件数が近年増加する一方で、なまこ・あわびの漁獲量が大幅に減少。

#### ○ 悪質・巧妙化する密漁



#### ○ 非漁業者の検挙件数及びなまこ・あわびの漁獲量の推移(海面)



※ ナマコについては、平成19年から平成30年までは統計外であり、令和元年から対象に異なった。

### ▲非漁業者の検挙件数及びなまこ・あわびの漁獲量の推移(水産庁HP)

ました。このことから、信頼できるアワビ・ナマコの流通が促進され、水産資源の持続的な利用が期待できます。

沖縄県内においてもナマコ漁が行われており、年中採捕されています。ただし、今帰仁漁協、本部漁協、名護漁協及び羽地漁協では、6月1日～8月31日の期間がナマコの産卵期にあたるため、禁漁期間を設定して資源維持を図っているとのことです。

沖縄総合事務局では、アワビ・ナマコを取り扱っている外食事業者、小売店等において、流通過程で漁獲番号の伝達が行われているかの確認を行うとともに、引き続

お問合せ先  
農林水産部 消費・安全課  
098-866-11672



▲ジャノメナマコ(沖縄県提供)

き、採捕者、流通関係者、販売者、消費者等へ幅広く制度の周知を行い、アワビ・ナマコの適正流通に向けて取り組んでまいります。

『優良事例のご紹介』

今帰仁漁協では、ナマコは9月から翌年5月にかけて漁獲されており、週に3日程度出漁し、マクブ、アカジン、タコの素潜り漁の際に、ナマコも採捕することです。

今回の新たな制度について、所属の組合員(漁業者)への普及・啓発に苦慮しましたが、ナマコを扱う組合員との意思疎通をよく図り、採捕事業者としての届出を円滑に行うことができたそうです。